

青ヶ島尾山でのカラスバト調査

青ヶ島村立青ヶ島小学校

3年 荒井聡介

4年 大島青、廣江志乃

1. 研究の動機

クロハトは、私たちの身近にいる青ヶ島を代表する鳥です（正式名はカラスバト）。伊豆諸島の他の島では、なかなか見られないと聞いたのでその生息数を自分たちで確かめたいと思いました。そこで、学校の近くにある尾山で生息数を調べることにしました。



2. 予想

6月は梅雨の雨のため、8月は暑さのため、見られるクロハトは少なくなると予想しました。

3. 研究の方法

学校の近くにある尾山に5月下旬から8月上旬にかけてクロハトの調査に行きました。観測は8時半から始め、毎回約1時間行い、学校に戻ってすぐに全員で結果を確認しました。「学校から尾山頂上」、「尾山頂上」、「尾山頂上から学校」と観測場所を3つに分け、3人でおもに前、左右、後ろを見るように役割分担してクロハトを探しました。

毎回の結果は、下の観察カードに記録しました。



撮影：荒井聡介
2024年5月
青ヶ島岡部地区

カラスバト

ハト科、全身が黒い大型のハトです。
(全長) 40cm。(食べ物) 果実。(分布) 伊豆諸島、本州、四国、九州、沖縄の島などに住む留鳥。
(小学館の図鑑NEO鳥2002年より)

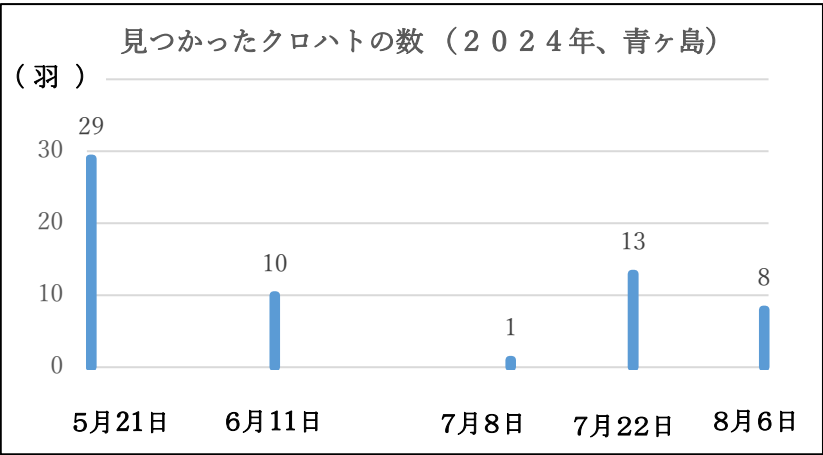
野外観察記録			
年 月 日			
年 名前			
観察場所 青ヶ島小学校から尾山頂上まで			
時刻	校庭(出発時)	尾山頂上	校庭(到着時)
天気			
気温(℃)			
風向			
風の強さ (リボンの なびき方)			
鳥を見た回数			
行き()分	展望台()分	降り()分	
クロハト			
気づいたこと			

4 . 研究の結果

調査の結果を、次の表とグラフにまとめました。ただし、8月2日は雨により頂上と帰りの観測はできませんでした。

見つかったクロハトの数(2024年、青ヶ島)
(羽)

月日	5/21	6/11	7/8	7/22	8/6	平均
行き	19	2	0	6	5	6.4
頂上	2	1	1	0	0	0.8
帰り	8	7	0	7	3	5.0
合計	29	10	1	13	8	12.2



- ・5月21日が最も多く29羽で、2番目に多い7月22日の13羽の2倍以上でした。
- ・7月8日が最も少なく1羽でした。
- ・頂上での観測数は少なく最大で5月21日の2羽でした。

5 . 分かったこと

- ・6月は10羽で、予想したようには少なくなりました。
- ・8月は8羽で、5回の観測の平均(12.2)よりは少なかったが、7月の1羽よりは多くなりました。
- ・7月8日まで減っていき、最小となり、その後増えていきました。

6 . 研究のまとめ

- ・今年の8月は、クロハトがほとんど見られない印象でしたが、今年の8月6日の観測では8羽確認できました。
- ・7月以降、クロハトが減ったのとは逆に、アカコッコやメジロなどほかの鳥の数が増えてきたのに気づきました。来年は、ほかの鳥の数と一緒に観測して、クロハトと比べてみたいです。
- ・羽が整っていない(傷んでいる)クロハトをよく見ました。枝などにぶついている可能性があります。
- ・クロハトがどういうところが好きなのかを知りたいので、他の場所やその周りの植物との関係も調べてみたいです。
- ・クロハトのエサになるタブノキを荒らすカミキリムシの数が増えたのに気づきました。これらの昆虫についても調べてみたいです。

7 . 参考文献

*1:青ヶ島村 HP,
<https://www.vill.aogashima.tokyo.jp/>
2024年9月6日 閲覧

*2:小学館の図鑑 NEO 鳥、2002年 小学館